

私の生まれた村は森の奥深くにある『エルフの秘宝』を守る集落だった。しかし、その秘宝を狙った蛮族により村は崩壊。子供の私は運良く見逃されたものの村の者は死に絶え……。たまたま、フィールドワークに来ていた自然学者によって発見され、その男の家に連れて行かれた。その夫婦には子供が出来る、異種族である私を夫の子供のように育ててくれた。しかし、私の脳裏にはいつまでも実の父母、兄弟の顔、同胞の断末魔が消えることはなかったのである。実の父母も世界し、身辺の整理がいつたところで、私は同胞の無念を晴らすべく、秘宝を追いかける旅に出たのである。